

和倉小だより

1月号 No.41

教育目標 「心身共に健康で、意欲を持って学ぶ子の育成」

学校ホームページ <http://www.city.nanao.lg.jp/wakurasho/>

学校メールアドレス wakurasho@edu.city.nanao.ishikawa.jp

平成31年1月29日

七尾市立和倉小学校

TEL 62-2070

FAX 62-2082

文責 岩崎

楽しかったスキー活動！

1月25日（金）4～6年生が、七尾コロサスキー場でスキー活動をしました。1～3年生のそり遊びと同様、暖冬で実施が危ぶまれましたが、活動時間を短縮して実施しました。やまびこ荘に到着後、入所式では6年田中斗騎さんが代表の挨拶をしました。そして、所長さんからスキーくつの履き方やスキー場でのきまりなどの話を聞きました。



10のグループに分かれ、活動が始まりました。前日からの新雪が5cm程積もり、まずまずのコンディションと、他に利用団体がなく貸し切り状態だったので、子どもたちは思う存分活動ができました。ただ、リフトが動いていなかったため、上級者は自力で上まで登らなければならず少し大変でした。

それぞれのグループは、①平地を歩く、②緩斜面を直滑降し自然停止、③もう少し上の斜面から直滑降しスピードをコントロールしながら斜面の途中で停止、④左右の大回り、⑤自由に滑降など、自分たちの技能に合わせた練習をしました。途中から天気もよくなり雄大な自然の中、時間ぎりぎりまでスキー活動を楽しんだので、昼食はあわてて食べました。



後始末と荷物整理をした後、退所式では6年吉田梨紗さんが代表の挨拶をしました。そして、指導者にお礼の言葉を言ってスキー場を後にしました。スキー活動が2時間半ぐらいだったので「もう少し滑りたい」という子どもの声があちらこちらから聞こえました。また、斜面を10回以上歩いて登った子どもが10数名いました。

お忙しいにも関わらず、講師として参加して下さった杉原さん、濱田さん、小崎さん、スキー協会の方々、本当にありがとうございました。

Let's call..オアシスライン

～親と子のなんでも電話相談室～

受付時間：13:00～16:00(月曜～金曜)

TEL 0767-52-0783

相談内容：悩んでいること、困っていること

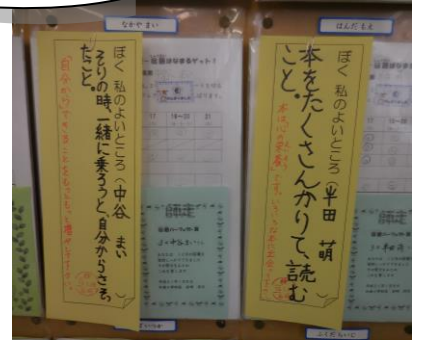
*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。

～オアシスライン担当～



これが ぼく私のよいところ!

今年一年、自分のよいところが堂々と言える和倉っ子になって欲しいと全校集会などで何度も話してきました。3学期は、全員が自分のよいところを見つけ、短冊に書くことにしました。



3年生 (一部私が要約したのもあります)

赤坂 晃虎 あきらめずにさい後までやりきるところ

泉 明咲 ゴミが落ちていてそれが食べ物でみんなが拾わなくても自分が拾ったところ

垣内 奏碧 弟のめんどうを見てあげるところ

梶濱 瑠夏 一人でいた友だちを遊びに入れてあげるところ

河本 琥珀 算数ドリルをがんばれるところ

蔵谷 柚 雪遊びで「まぜて」と言われたとき「いいよ」と言ってあげたところ

小崎 由愛 だれとでもなかよくせったり、あいさつをしっかりとしたりするところ

五林 ねね 落とし物を拾って名前があるかどうかをすぐにたしかめるところ

島谷 萌李 弟のめんどうを見たりお母さんのお手伝いをしたりするところ

高橋知人世 悪いことをしたらすぐあやまったり、一生けんめいがんばったりするところ

多田 光希 ゴミやティッシュなどが落ちていたら拾ってきれいにするところ

多中 悠樹 そうじで細かい所まできれいにするところ

田中 瑠緒 なんでもやりきるところ

寺田 愛凜 みんなとなかよくできるところ

中村 結衣 いろいろな遊びにさそってあげたり一緒に遊んだりするところ

中谷 まい そり遊びで「一緒に乗ろう」と自分からさそったところ

白馬 樹翔 朝、学校に行くときに1年生が道路で遊んでいたのを注意してあげたところ

濱田 祥真 物をすてずに持ち続けられるところ

半田 萌 本をたくさんかりて読むところ

福田 頼慈 困っている人をいつも助けてあげられるところ

細川 蓮 むごんせいそうをしゃべらずにしたり一生けんめいいろいろなことに取り組んだりするところ

宮本 楓 泣いている子がいたらやさしく話しかけてあげるところ

山口 藍瑠 そり遊びの時におやつをみんなに分けてあげられたところ

山崎 輝彦 遊んでいるとき一人ぼっちの子にふだんから声をかけたり、そり遊びでだれかのわすれものを自分から運んだりするところ



挨拶運動をする3年生

